

# 鈴鹿市民の コミバスをよくする会ニュース

(第17号・2015.9発行)

発行:(略称)コミバスをよくする会  
事務局(仮):辻井良和 方  
〒510-0234 鈴鹿市江島本町31-36  
電話 059-386-0529 FAX 059-386-0646

## 玉城町「元気バス」 見学会に参加して

平成27年7月2日(木)鈴鹿市民のコミバスをよくする会の皆さんと、マイクロバスで玉城町の「元気バスへの取り組みについて」の見学に行き、福祉協議会事務局長より資料を頂きプロジェクターを使っての説明を受けました。

オンデマンド方式とは、希望する目的地と、時間を予約し指定されたバス停から乗車し移動する交通手段である。予約は当日の30分前から、2週間先まで、電話、スマートフォンか、病院、スーパー等に設置されたタッチパネルで行い、お年寄りでも操作可能とのこと。予約は東京大学の交通システムを取り入れコンピューターにより「誰が、どこから、どこまで何時に着けばよいか」オペレーターが入力すれば直ちにパソコンが計算し乗車等の手配ができるとのことでした。

高齢者も今までは家に閉じこもっていたが、保健福祉会館へ来て運動、サークル活動する人。そこから温泉、買い物、病院へ行く人等のルートがあり出かける楽しみが増え、お年寄りに希望を与え、効果として病院での外来受診が多くなり入院される方が減って後期高齢者の医療費が削減されたとのこと驚き印象に残っています。

元気バスも色々な角度からみて検証し分析してお



玉城町保健福祉会館で事務局長より説明を受ける

り、東大生と使いこなしている事務局長さん等にも感銘を受けました。また、事務局長の語りも要点を得ており、食後でも眠くならずについついメモを取っていました。また、導入後も検証しており「もっともっと良くしたい」まだまだ改善をとの意気込みで、前を向いた取り組みにも感心させられます。

鈴鹿でも高齢者、生活の足、として今後は必ず必要になります。移動は10km程度を想定し、利用する目的、年齢、男女別、一人家庭、二人家庭の家、地域の特性、地域で行きたい箇所、導入したら誰がどのような形で利用するか、また、利用者の使い勝手のよいもの等々を把握し、鈴鹿市のどこかの地域をモデル地区として立ち上げ色々な角度から検討し「プランを練り」「実行し」「チェックして」「改善する」を行い、車なしでは住めない鈴鹿市を、少しでも早く導入の検討を行い、高齢者の足を確保する取り組みが必要であると痛感致しました。

藤田和美(上田町自治会長)

★インターネットで「無料バス」と検索すると、たくさん無料バスがあることが判ります。多くは、温泉リゾート施設やホテルへ来てもらうのに、最寄りの駅から無料バスを出しているもの、大型ショッピングセンターへの無料バス、大学への無料バス、大きな美術館へのもの、団地と駅を結ぶもの、町営や市営のものなどあります。★これらの多くは、お客さんにたくさん来てもらって儲けさせてもらうためですが、町営や市営の無料バスは、自家用車を持たない住民の交通要求を保障しているものです。★自家用車を持たない人の多くは、所得が少ないか、年齢が高いか、まだ自動車免許を取れない年齢かなど、普通の人と比べて満たされない部分がある方です。★鈴鹿市民のコミバスをよくする会では、このギャップを埋めて、同じ市民として社会生活を平等に楽しめるようにしようとする平等実現の運動です。無料バスは、故郷創生事業に最適だと思いますが。

発車オーライ

## 早く鈴鹿市でも 実現してほしい



昨日は大変お世話になりました。お陰様でとても勉強になり考えることも多く、勉強になりました。

玉城町とは比べられないことが多いのですが、それでも現在の社会情勢から参考になることも随分たくさんありました。

先ずよく似た点として皆さんがおっしゃるように鈴鹿も公共交通を利用することは大変不便です。

私は旭が丘に住んでいますが、バス、電車を使うことは少なく、くるま依存の生活です。くるまが使えなくなれば外に出なくなりそうで、それは恐怖でもあります。

玉城町のように無料バスがあれば先ず、趣味、健康を保つためのスポーツ、講演会などの教養のためなど気楽に外出できるでしょうし、それは健康な生活にもつながります。ただし交通費が高く掛かりますと、どうしても必要な時のみに出ることになりそうです。

玉城町の皆さんが病院への利用順位が3番目とはとてもうらやましいです。また利用しやすいように近くにバス停があることも大切です。

このように乗り場までの距離と経済的なことから、出来るだけ早く鈴鹿市でもコミバスが利用できる日が来ることを願っています。(山門)

## 団地の高齢者が 外に出たい

### 名張市でも無料バスの運動

名張市で、無料バスの運動が始まりました。名張市は、鈴鹿市とよく似て中心市街地が少なく、無規律に行われた宅地開発が、あちこちの丘の上に団地を造ったため坂道が多く、高齢期を迎えた人たちが街に出られなくて困っています。

名張市が援助して団地毎にコミュニティバスが運行されていますが、多くは三重交通への委託運転で、自治会運営が多くて自治会のお荷物になっています。

鈴鹿市の運動を聞きたいとのことで、6月19日に行って、今までの経験や運動の目的を話してきました。こだわったのは無料にすることです。無料でない住民の個人個人の願いに答える交通組織は難しいことを、交通産業の利権を守る道路運送法の規定を元に解説しました。

次に、名張市のような小規模都市では、一斉に大勢が乗るバスではなく個人の用事を満たす、度会郡玉城町のようなオンデマンドバスがふさわしいこと、その方が経済的で扱いやすいので、実現するための条件として考えて欲しいと話しました。

住宅地の面積も小さく、中心街に出るのが主な交通となれば、八つ手の葉っぱのような地域を決めて、中心市街地で共通の停留所を10カ所ぐらい作れば、乗り換えもうまく行くのではないかと意見を出しました。各地に運動団体が出来て各自自治体に具体的提案が出来ると実現が早まります。(辻井良和)

**お知らせ** スーパー前アンケート活動  
9月26日(土)9時~12時半  
マックスバリュ長太の浦店

## コミバスをよくする会・上野町の会員の声

○さん (女性・70歳代)

主人が病気になり亡くなりました。介護に行くのに近所の方のご厚意で助かりました。でも毎日頼めません。息子は勤めがあり夜に限られます。福祉バスがあればどんなにいいかと切望しました。

Nさん (女性・80歳代)

実現は自分の代では不可能です。役員の方の努力に感謝して会費を払っています。実現まで亀山のようにタクシー券が欲しいです。

○さん (男性80歳)

将来の若者のためでもあり、強く実現を望みます。

Mさん (女性・80歳代)

神戸などの文化的催しに行くのが希望です。おいそれとは実現しないけど、運動はそんなものだと思います。協力しています。

Kさん (男性・80歳代)

もっと、若い者に働きかけなければ、アンケートは増えないでしょう。

Mさん (男性・70歳代)

玉城町のシステムには感動しました。福祉の視点を市長さんに理解してもらいたいものです。

